

2019年総合生活改善 第4回中央生活闘争委員会 ＜確認事項＞

2019年3月19日
自動車総連

☆ 3月9日（土）の第3回中央生活闘争委員会にて確認した「回答引き出しに向けた基本態度」に基づき、各単組が最後まで粘り強く交渉を追い上げた結果、先行的に回答引き出しにあたった主要12単組においては、交渉環境が日増しに悪化する中、賃金については2単組、年間一時金については8単組、それぞれ満額の回答を引き出したことを始め、各単組にとって「最大限の回答」を引き出すことができた。

☆ 車体・部品、販売、輸送、一般の各部門においても解決が進みつつあり、現時点、自動車総連全体では、全体の21.4%にあたる233単組で妥結又は妥結方向に至っており、主要単組の回答引き出し結果を土台に、中堅・中小単組の奮闘ぶりが数字にも表れている。

1. 全体の解決状況

1) 月例賃金

- ・個別賃金については、683単組が要求し、現時点において、61単組が回答を引き出している。
- ・平均賃金については、賃金カーブ維持分と賃金改善分を合わせた引き上げ額全体の平均は5,649円となっており、同一単組における前年比較で見ると、規模の小さい単組ほど前年を上回る水準となっている。また、賃金改善分の獲得額の平均は1,030円と、前年よりやや低下しているものの、299人以下の中小単組においては、半数の単組が前年実績と同水準又は前年実績を超える賃金改善分を獲得している。

組合規模	妥結単組	平均回答額 (維持分+改善分)		平均回答額 (改善分)			前年実績と同水準 又は超える単組
			前年比 (同一単組比較)	前年同期比	前年比 (同一単組比較)		
3,000人以上	30	7,150円	△313円	1,333円	△188円	△188円	10/29(34.5%)
1,000～2,999人	44	5,963円	△216円	1,037円	△248円	△231円	20/41(48.8%)
500～999人	48	5,414円	+35円	962円	△152円	△187円	15/39(38.5%)
300～499人	30	5,478円	+53円	954円	△152円	△103円	12/27(44.4%)
299人以下	81	5,018円	+93円	963円	△155円	△130円	32/65(49.2%)
計	233	5,649円	△48円	1,030円	△177円	△166円	89/201(44.3%)

- ・加えて、中期的に目指す賃金の絶対水準を労使で共有し毎年底上げすることを確認した単組や、高齢者や中途入社者、あるいは若手等、固有の賃金課題の解決に向けて労使委員会を設置し継続的に話し合うことを確認した単組等、自らが目指す賃金水準・賃金制度の実現に向け、今後の足がかりを確かにした単組も随所に見られる。

2) 年間一時金

- ・年間協定による回答を引き出した200単組における年間回答月数の平均は5.07ヵ月であり、その内、138単組が5ヵ月以上を獲得している。また、前年と月数比較可能な単組の内、131単組で前年以上の回答を獲得している。

3) 働き方の改善

- ・多くの単組において、職場全体の生産性向上、恒常的な長時間労働の是正、及び多様な働き方の促進等、それぞれの労使の実態に即した深い話し合いが行われ、今後の具体的な取り組みにも確実に繋がっている。深刻な人手不足と産業の大転換期を乗り越えていくためには、それぞれの個別企業労使及び産業全体の「働き方の改善」は待ったなしの状況である。

4) 非正規労働者に関する取り組み

- ・進展があったとする単組の多くで、時給や日給の有額での回答引き出し、あるいは一般組合員の水準と同等またはそれ以上の賃金・一時金の獲得等、同一価値労働同一賃金や労働組合の社会的役割の観点からも、価値ある結果を引き出している。

2. 今後の進め方

- ☆ 自動車総連が目指す「全体の底上げ・格差是正の更なる前進」に向けては、本格的な回答引き出しを迎えている中堅・中小単組の取り組みこそが肝である。
- ☆ とりわけ「賃金」については、先行して回答引き出しを進めた主要単組・大手単組の回答引き出し結果とその思いを確固たる土台として、「目指す賃金・目指す働き方を実現する」「底上げ・格差是正を何としても進める」とした、中小を始めとする自動車総連全体の強い意思を形にすべく、次の通り、自動車総連一体となって、本日以降の取り組みを全力で前に進めていく。

<各単組>

- ・現在も交渉が続いている全ての単組は、「回答引き出しに向けた基本態度」に則り、「自らの要求根拠に照らし合わせ、その要求根拠を十分に満たし得る」かつ「労連全体の要求に表れた強い意思の具現化に繋がる」最大の回答を引き出すべく、最後まで交渉を追い上げる。
- ・加えて、本年の回答引き出しに合わせ、「絶対額を重視した取り組み」のステップに即した前進感や、自らの賃金課題の解決に向けた今後の取り組みに繋がる足がかりを確実に確保する。

<各労連及び自動車総連本部>

- ・各労連は、加盟する中堅・中小単組（特に複数年連続で賃金改善分の獲得に至っていない単組）における「最大限の回答」引き出しに繋げていくべく、具体的な戦術やサポートを展開する。
- ・自動車総連本部は、各単組・労連の取り組みを後押しすべく、組織内外に対し、回答引き出し状況について、タイムリーかつ効果的な情報発信を行う。
- ☆ 全ての単組は、各労連が策定した戦術のもと、集中的な回答引き出しにより共闘効果を高めるべく、自動車総連全体の目標である3月末決着を強く意識した解決に最後まで力を尽くし、遅くとも4月末までには全ての単組での決着を図る。

- ☆ 第5回中央生活闘争委員会を4月23日（火）に開催する。

■ 回答引き出しに向けた基本態度（第3回中央生活闘争委員会〈確認事項〉再掲）

☆自動車総連は、自動車産業労使の果たすべき責任・期待と影響の大きさを強く認識した上で、最大限の回答を引き出すべく、本「回答引き出しに向けた基本態度」をもって、最後まで粘り強く交渉を追い上げていくことをここに確認する。

＜月例賃金（個別賃金絶対水準要求・平均賃金要求）＞

- 全ての単組は、「自らの要求根拠に照らし合わせ、その要求根拠を十分に満たし得る」かつ「労連全体の要求に表れた強い意思の具現化に繋がる」最大の回答を引き出すべく、最後まで交渉を追い上げる。
- 各労連及び自動車総連本部は、「目指す賃金・目指す働き方を実現する」「底上げ・格差是正を何としても進める」とした、中小を始めとする各単組の「人への投資」を求める強い意思を形にすべく、具体的な戦術・サポートの展開、回答引き出し状況の速やかな収集・分析・共有等を行う。
- 非正規労働者の賃金改善については、具体的な有額での回答引き出し、及び一般組合員との同時決着を図る。

＜企業内最低賃金＞

- 企業内最低賃金協定の新規締結、締結水準の引き上げ、または締結対象の拡大を要求した単組は、特定最低賃金を通じた社会全体への波及の観点を強く意識し、底上げ・底支えに繋がる回答を確実に引き出す。

＜年間一時金＞

- 組合員の努力・頑張りに報い、更なる意欲・活力に繋げていくためにも、満額獲得に向け、最後まで押し込む。季別回答や業績を意識した付帯事項は望ましくないとのスタンスのもと、年間協定にとことんこだわる。

＜働き方の改善＞

- 職場全体の生産性向上や恒常的な長時間労働の是正を図るべく、今次交渉を通じ労使で深め合った、職場風土や働く環境、仕事の進め方等の働き方課題について、課題解決に繋がる回答引き出しや取り組みに確実に結び付ける。

＜非正規労働者に関する取り組み＞

- 取り組んでいる単組は、同一価値労働同一賃金の流れを強く意識し、一歩でも二歩でも取り組みが進む回答を引き出すとともに、今後の取り組みに繋げていく。

＜早期決着に向けた取り組み＞

- 各単組・労連は、共闘効果を高めるため、自動車総連全体の「ヤマ場」と設定した3月13日（水）から3月22日（金）の間で、集中的に回答を引き出す。主要単組における集中回答日は3月13日（水）とし、午前中に要求項目の同時回答を引き出す。
- 自動車総連全体では、回答指定日の重みを踏まえつつ、3月末決着を目指し最大限取り組むとし、遅くとも4月末までには全ての単組での決着を図る。